

事業所名		つばさんわくわくフレンズ					支援プログラム		作成日		2025	年	3	月	1	日
									開始日		2025	年	4	月	1	日
法人（事業所）理念		・常に新しい発想力と、堅実かつスピード感のある決断力をもって、質の高いサービスを提供し、お客様に信頼される誠実な企業をめざす。 ・自己啓発を尊び、いつも夢と若さをもって、明るく元気で成長性あふれる、企業風土をつくり出す。														
支援方針		・子どもたちの主体性を大切にするとともに、子どもたちに寄り添いそれぞれの特性に合わせた支援を行う。 ・「わくわく」する遊びや活動を通して、お友だちや職員との交流を図りながら、心身の成長を促す。 ・他者との関わりを通じて、一人ひとりが「生きる力」を育む。														
営業時間		平日	14	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし			
		学休日	9	時	0	分から	17	時	0	分まで						
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	・日常において心身の健康状態を観察・把握し、健康的な生活習慣の確立や生活リズムの安定に繋げる。 ・調理活動や食育を通じて、生活の根本となる「食事」の大切さや楽しさを伝え、子どもたちそれぞれに必要な「生きる力」を育ませる。 ・日常生活動作などの基本的技能が獲得できるよう、子どもたち一人ひとりの状況に応じた適切な支援を行う。														
	運動・感覚	・複合遊具やネット遊具（公園や体育館）、音楽を用いた運動、身近な道具（タオルやボール）を用いた活動や「遊び」を通じ、体幹への刺激を与えながら、筋力の維持向上に繋げる。 ・日常生活に活かせるような体の動かし方、感覚を刺激する活動を個別活動や集団活動にバランスよく取り入れる。 ・月・週単位で一定回数の運動プログラムを取り入れ、リフレッシュを図りながら良好な心と体のバランスに繋げていく。														
	認知・行動	・個別活動ボード（活動スケジュール）を確認したり、タイムタイマー（視覚的情報）も取り入れながら時間の認知形成を図る。 ・「新聞紙ちぎり」「小麦粘土」「スライム遊び」などを通じて物質の変化や感覚の認知形成、ブロック遊びを通して空間把握の認知形成、集団活動を通して適切な行動形成を図る。														
	言語コミュニケーション	・その場に適したコミュニケーションの方法（考えを伝える）、言語や言語以外での伝達の仕方、相手の意図を理解するなど、テーマを設定し支援を行う。 ・個別活動、集団活動と一人ひとりの課題や特性に合わせたプログラムを設定する。 ・集団活動の中で相手と関わる機会を設定し、相手の意図を理解する力、自分の考えを伝える力を伸ばすなど、言語表出（動作を含む）の機会を設定し支援する。														
	人間関係社会性	・一人遊びの状態から並行遊び、職員が介入する連合的な遊びを通して社会性の発達を促す。 ・集団活動や「遊び」の中に簡単なルールや一人ひとりに合った役割を設定し、協同遊びを通して社会性の発達を促す。 ・地域貢献活動（清掃活動）や地域の福祉施設交流などを通じ、社会の中の一員としての自覚や役割を実感できる機会を設定する。														
家族支援		・日常における情報交換、相談 ・延長支援の提供							移行支援		・保育園や学校、発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所との連携					
地域支援・地域連携		・地域の公園の活用や地域散策 ・公共施設や公共交通機関の利用							職員の質の向上		・社内外勉強会への参加 ・社内外研修会への参加 ・自己評価制度の導入					
主な行事等		・季節に合わせた行事活動・工作 ・避難訓練 ・外出活動														